

# 高次脳機能障害者への支援

ー 県政だよりを利用した啓発活動ー

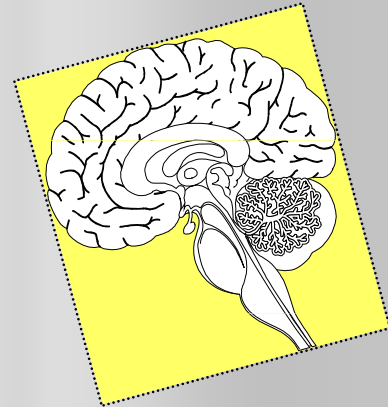
宮城県リハビリテーション支援センター

漆山裕希



# 高次脳機能障害とは

交通事故などの脳外傷  
脳血管障害  
(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血など)  
脳炎  
低酸素脳症

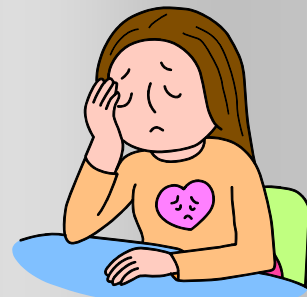


## 高次脳機能障害

認知・学習・記憶・思考・言語・自由意志・情動・理性・感性など、

ヒトで最も発達した **神経・精神機能の障害**

# 具体的な症状は？



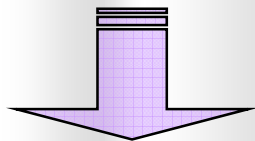
注意障害

記憶障害

遂行機能障害

行動と情緒の障害(社会的行動障害)

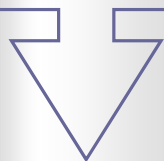
半側空間無視 失行 失語 など



日常生活や社会活動に困難をきたす

# 高次脳機能障害の特徴

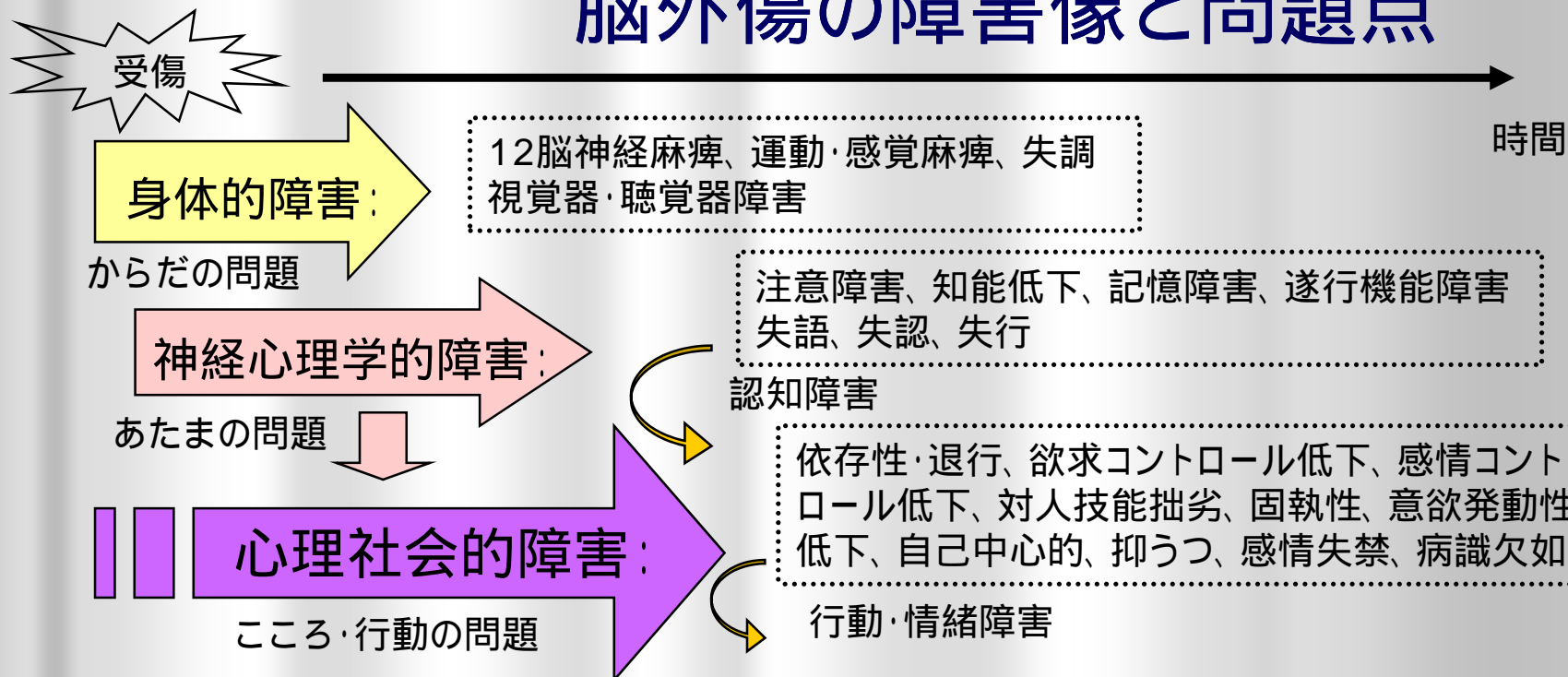
外見上は障害が目立たない  
(身体機能に後遺症を残す場合もある)  
自分でも障害に気づきにくい



在宅での**日常生活、社会活動**

(職場・学校・買い物・役所や銀行の手続き  
・公共交通機関の利用等)で出現しやすい

# 脳外傷の障害像と問題点



- ・症状(障害)は多種多様、かつ時間とともに変化する
- ・社会的な問題の出現: 自殺、離婚、失業、経済的制約、  
薬物依存
- ・社会環境の変化: 学校・職場のみで問題となる場合がある
- ・家族: うつ、社会的孤立、怒り      家庭機能の破綻

# 地域生活で重要なこと

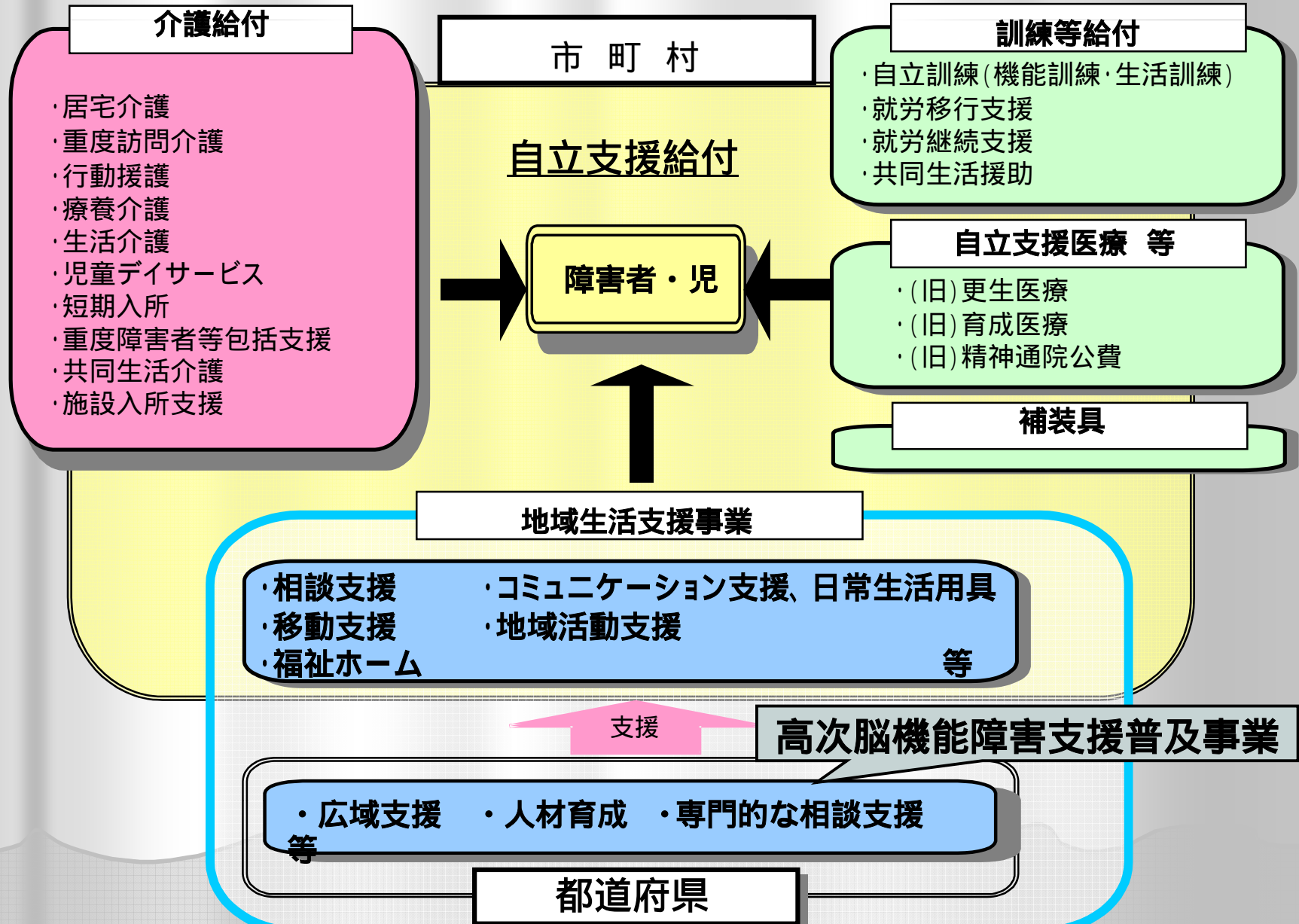
## 支援者レベル

- ・障害状況(日常生活、社会活動で生じる問題点)の把握
- ・対応、方向性の検討
- ・家族支援
- ・地域支援
- ・支援者間での情報共有

## 個人・地域レベル

- 病状(障害状況)の把握
- 本人の自覚
- 家族・周囲の理解
- など

# 総合的な自立支援システムの構築



# 高次脳機能障害者支援事業概念図

## 障害者自立支援法(地域生活支援事業)

拠点病院  
東北厚生年金病院

支援拠点機関  
県リハビリテーション支援センター

保健福祉事務所(5圏域)

市町村  
(障害者の福祉相談窓口)

各地区医療機関

地域生活支援センター  
作業所 など  
各地区社会資源

高次脳機能障害者  
家族 支援者

障害者職業センター  
就労支援センター  
各地区ハローワーク

精神保健福祉  
センター

精神医療センター  
各地区精神科病院  
クリニック



# 高次脳機能障害者支援事業

リハビリテーション支援センター  
県保健福祉事務所

リハビリテーション支援センター

支援チーム (リハ医・作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士)

支援コーディネーター 2名 (兼務・作業療法士)

## 相談事業

- ・電話相談
- ・巡回相談
- ・関係・関連施設  
支援

## 研修事業

- ・基礎講座研修
  - ・圏域研修
  - ・広域研修
  - ・専門研修
- 東北厚生年金病院

相談窓口となる担当者  
向けの研修会

当事者・家族や関係者、  
一般住民を対象とした  
研修会

多くの人に障害を知ってもらうために

## ・啓発用リーフレット作成 (平成19年度)

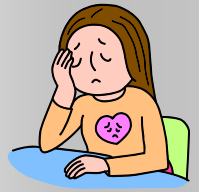


多くの人に障害を知ってもらうために

## ・県政だよりへの掲載 (平成20年度)

- ・約8割の人々が「読んでいる」
  - ・県内全戸配布
  - ・後で読み返すことができる
- 
- ・掲載までに数ヵ月程度の準備期間が必要  
(速報性に欠く)

# 県政だより



## 『高次脳機能障害』を知ってください

まずは相談してください

記憶障害・記憶と学習が困難になります

注意障害・注意力・集中力が低下します

遂行機能障害・・・目的にかなう計画をたて、行動することができにくくなります

行動と情緒の障害・・・状況に適した行動が取りにくくなります

# 相談状況 電話相談

相談内容	18年度	19年度	20年度
診断に関すること	4	4	2
症状に関すること	4	2	4
病院・施設	3	5	13
生活・就労	5	3	2
福祉サービス	4		3
家族会・交流会		2	
通所プログラム		2	
その他	1	1	2
件数（実件数）	25（21）	31（19）	26（23）

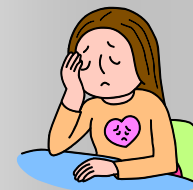
本人・家族	5	5	7
医療機関	1	4	4
福祉関係	12	8	11
その他	2		2

# 相談状況 電話相談

## 配布後の状況

相談内容	18年度	19年度	20年度
診断に関すること	4	4	2
症状に関すること	4	2	4
病院・施設	3	5	13
生活・就労	5	3	2
福祉サービス	4		3
家族会・交流会		2	配布後2週間以内に集中
通所プログラム		2	73件 11/1~1/31
その他	1	1	
件数(実件数)	25(21)	31(19)	26(23)

本人・家族	5	本人・家族が9割		7
医療機関	1		4	4
福祉関係		12	8	11
その他		2		2



主な原因 けが 交通事故や転落・転倒  
病気 脳出血 くも膜下出血など

記憶障害・・・記憶と学習が困難になります  
注意障害・・・注意力・集中力が低下します  
遂行機能障害・・・目的にかなう計画をたて、行動することができにくくなります  
行動と情緒の障害・・・状況に適した行動が取りにくくなります

知的障害・精神障害・認知症・発達障害が疑われる方からの相談があった。

## 県政だよりでの啓発活動を試みて

- 一般住民への周知に役に立った
- 地域で生活する高次脳機能障害者の掘り起こしに役に立った
- 神経・精神機能の障害は外見上わかりにくく、同様な症状が見られる障害が他にもあることを再認識した
- 初めて「高次脳機能障害」を知り、その障害があると思われる人の多くは医療機関の情報を求めている。

啓発活動は現場の生の声を聞く機会だった